

白島石油備蓄株式会社

I 法人の概要（令和2年7月1日現在）

- 所在地 東京都千代田区神田錦町二丁目9番地
- 設立年月日 昭和56年6月8日
- 代表者 代表取締役社長 松下 裕史（令和2年6月25日）
- 資本金 100,000千円
- 北九州市の出資金 5,000千円（出資の割合 5.0%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	6人	0人	0人	6人
常勤	5人	0人	0人	5人
非常勤	1人	0人	0人	1人
職員	82人	0人	0人	82人

II 令和元年度事業実績

令和元年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種の経済財政政策の推進により、景気は緩やかな回復が続いていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。

このような経営環境の下、白島石油備蓄株は、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）との平成30年度から令和4年度までの5ヵ年に亘る白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約（以下「業務委託契約（平成30年度～令和4年度）」という。）の2年度目にあたり、大型工事である貯蔵船白島二号水封タンク内防食工事の完遂および貯蔵船白島五号泊地内検査工事の着手、平成20年度から隔年で実施している海上災害対応能力維持および強化のための組織演習業務に取り組む他、契約に定める業務を着実に遂行した。

業績については、当期は機構から9,275百万円の収入を得て、48百万円の当期純利益となった。

Ⅲ 令和元年度決算

1 貸借対照表（総括表）

令和2年3月31日現在（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	4,467,686	流動負債	3,375,985
現金及び預金	1,322,114	未払費用	3,244,579
営業未収金	2,470,318	未払法人税等	27,203
前払費用	10,004	未払事業所税	8,489
未収消費税等	664,832	預り金	4,186
その他	416	賞与引当金	91,526
固定資産	76,636	固定負債	381,474
有形固定資産	15,515	退職給付引当金	358,515
建物	13,327	役員退職慰労引当金	22,959
工具器具備品	2,188	負債合計	3,757,459
無形固定資産	263	（純資産の部）	
電話加入権	84	株主資本	786,863
ソフトウェア	179	資本金	100,000
投資その他の資産	60,857	利益剰余金	686,863
長期差入保証金	18,863	利益準備金	25,000
長期前払費用	1,075	その他利益剰余金	661,863
繰延税金資産	40,918	別途積立金	90,000
		繰越利益剰余金	571,863
		純資産合計	786,863
資産合計	4,544,323	負債及び純資産合計	4,544,323

（注）記載金額は、千円未満を切り捨て

2 損益計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日（単位：千円）

科 目	金 額	
売上高		9,275,418
売上原価		8,872,195
売上総利益		403,223
販売費及び一般管理費		317,124
営業利益		86,009
営業外収益		
受取利息	5	
雑収入	1,744	1,749
経常利益		87,848
税引前当期純利益		87,848
法人税、住民税及び事業税	42,422	
法人税等調整額	△ 3,111	39,311
当期純利益		48,537

（注）記載金額は、千円未満を切り捨て

IV 令和2年度事業計画

来期は、機構との業務委託契約（平成30年度～令和4年度）の3年度目にあたる。大型工事である貯蔵船白島五号泊地内検査工事の完遂が最も重要な課題ではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響による各種工事（業務）の遅延等厳しい状況が続くと見込まれる。新型コロナウイルス感染予防策の徹底を図りつつ、緊急時における国家備蓄石油の円滑な放出が可能となる様万全を期して事業を継続する。

また、当社の経営方針・行動指針に基づき、令和2年度会社目標である「安全・安定操業の維持継続」、「中期計画の推進による競争力強化」、「人材の育成、モラルアップの推進」、「社会との共生、環境との調和」の達成により、引き続き基地の安全・安定操業に努めていく。

V 役員名簿

令和2年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	松下裕史	
専務取締役	黒岩理	
取締役	坂井俊哉	
〃	竹田英樹	
〃	平塚隆明	
監査役	小笠原浩三	コスモ石油株式会社